

なんぶ 社会福祉だより

68

主な内容

☆南部町社会福祉協議会会長表彰 ☆子ども服譲渡会 ☆支え愛マップ事例紹介
☆無事ですタオル作戦 ☆新配食サービス ☆あいのわ支え合い講座 ☆NEWレク用品・貸出物品紹介



令和3年11月25日（木）、総合福祉センターしあわせにて「子ども服譲渡会」を実施しました。本年6月の譲渡会は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、1時間2組の予約制にて行いましたが、今回は状況が落ち着いていることから滞在時間を1時間程度とさせて頂いた上で、随時来場可能な形で開催しました。

当日は39名の方が来場され、沢山の子ども服や用品を必要なご家庭にお譲りすることができました。今後も町内の子育て世帯支援の為、事業を継続していきたいと思います。

詳しくは3ページへ！



令和3年度 南部町社会福祉協議会会長表彰



▲ご出席いただいた受賞者のみなさま

令和3年度の南部町社会福祉協議会会長表彰は、8名の方が受賞されました。

11月18日に社協役員立会いのもと、表彰状の授与と記念品の贈呈を行いました。

永年に亘る社会福祉・ボランティア活動等、地域の福祉活動にご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

◇民生委員・児童委員功労者◇

(敬称省略)

所 属	氏 名
南部町民生児童委員協議会	組田 和敏
南部町民生児童委員協議会	瀧山 寛



◇社会福祉施設・団体職員功労者◇

(敬称省略)

所属役職名	氏 名
社会福祉法人伯耆の国	大江 佳子



◇ボランティア・福祉活動功労者(個人)◇

(敬称省略)

所属役職名	氏 名
西伯配達ボランティア	加納 操
西伯配達ボランティア	遠藤 忠明
会見配達ボランティア	垂水 英俊
地域福祉員(伐株)	生田 幸子
地域福祉員(縄平)	頼田 牧子



子ども服リユース

赤い羽根共同募金助成事業

譲渡会を開催しました！

2021.10.25 1歳6か月検診時
譲渡会（いこい荘）

コロナ禍も落ち着きを見せる中、
沢山の子どもの服を必要な方にお譲り
することができました。参加された
皆さんは「兄弟が多くて助かる」
「保育園の着替えにしたい」と話さ
れ、笑顔で帰られました☆

地域の皆様には、沢山の衣類や用品
をご提供いただきありがとうございました。



2021.11.25 譲渡会
（しあわせ会議室）



使える服が
いっぱい！

ベビーカー
もらったよ！



子ども用品は随時希望される方へお譲りできます。
社会福祉協議会のHPに一覧を掲載していますので、
是非ご覧ください♪



☆子ども服、用品の受付再開しました☆

取り扱い品目

○子ども用品

（ベビーカー、チャイルドシートのみ。）

令和4年度より他の用品の持ち込みは受付できません。）

○子ども用衣類

（ベビー服～150cmまで。肌着は新品のみ。布オムツはご遠慮下さい。）



次回の譲渡会は令和4年6月頃を予定しています！

詳細が決まりましたらHPやチラシにてお知らせします。

担当者メールアドレス(QRコード→)
honsho01@nanbushakyo.com



お住まいの集落で！

支え愛マップづくり

毎年各地で様々な災害が発生し、防災意識が高まりつつあります。防災に関心を持っておられる方も多いのではないのでしょうか？

社会福祉協議会では平成24年度から集落の災害時の対応を円滑に進めるため、災害時の避難支援の仕組みづくりや集落での「支え愛マップ」づくりへの支援を行っています。今までに50近くの集落で実施され、地域での日頃の見守りへの取り組みなどにつながっています。



話し合ってマップを作ります

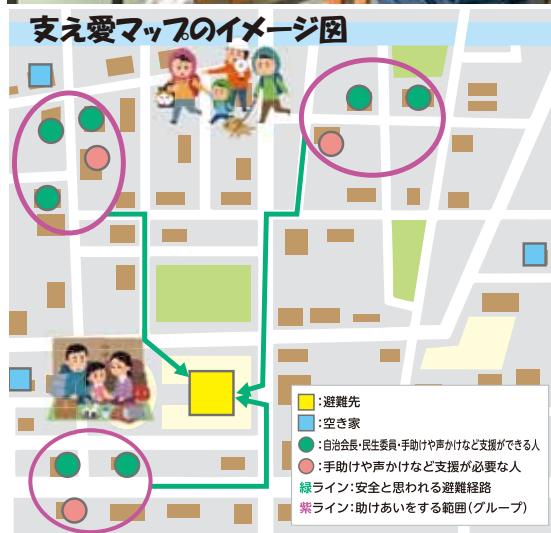


防災の会議中です

支え愛マップって何？

支え愛マップとは、災害時に誰かの手助けや声掛けを必要とする人、声掛けができる人、避難先など、一連の情報を盛り込んだ地図のことです。

支え愛マップはつくることだけが目的ではなく、地域のことを話し合う中で、『日常のつながり・支え愛』を考えてもらうことを大切にしています。



支え愛マップづくり等を支援する補助金制度があります(自治会向け)

はじめてマップづくりに取り組む

災害時要支援者対策促進事業

○支え愛マップづくり

○避難訓練の実施

○研修会・講演会の開催 など



(補助金活用例)

- ・支え愛マップづくりのために必要な地図やマーカーなどの消耗品
- ・避難支援のためのリヤカー、担架など
- ・避難誘導のためのヘルメットなど

補助限度額

1住民組織あたり **5万円以内**

マップの見直し・さらなる取り組み

災害時要支援者対策ステップアップ事業

○住民による「地域支え愛会議」の立ち上げ・運営 支え愛マップづくりで、明らかになった地域の課題を 話し合う

○より実践的な訓練などの実施 高齢の方、障がいのある方、子どもがいる世帯など、 支援が必要となる世帯の特性に応じた避難訓練の実施

(補助金活用例)

- ・支え愛マップづくりのために必要な地図やマーカーなどの消耗品
- ・避難所の備品(ブルーシート、毛布など)
- ・避難支援のための発電機、投光器など

補助限度額

1住民組織あたり **10万円以内**

町内での取り組みが更に広がりますよう実施に向けてのお手伝いをさせていただきます。
まずはお気軽にお問合せください。

「うちの家族は大丈夫！」 無事ですタオル作戦



災害はいつ起こるかわかりません。本当に差し迫りそうな場合は、声を掛け合って早めに避難し、お互い無事に過ごしたいものです。また、電話等が使えない場合でも、無事である事が伝えられれば、人命救助が必要な方等への迅速な対応にも繋がります。

そこで、この避難済みの目印となる「無事ですタオル」を使って集落の継続的な避難訓練活動に活用してみませんか？

「うちは大丈夫！」ということを表示することで安否確認に掛かる時間を大幅に短縮することに役立ちます。

無事です

南部町社会福祉協議会
赤い羽根共同募金助成金事業

どんな時に使うの？

避難訓練や災害時の避難で
道路から目立つところに付けて下さい

無事です
南部町社会福祉協議会
赤い羽根共同募金助成金事業

赤い羽根共同募金助成事業

期待される効果

- 災害時の迅速な避難の確認に役立ちます。
- 避難訓練で使うことで、防災意識の向上や近隣の助け合いや一体感を生むことが期待できます。

この運動は
民間レベルで
全国的に拡がり
つつあります



このタオルは既に「支え愛マップ」づくりに取り組まれ、この事業にご理解頂けた集落から優先的にお渡しする予定です。是非集落で有効にご活用下さい。詳しくはお問合せ下さい。

(支え愛マップを未実施の集落でもご相談下さい)

配食サービス

安否確認を目的としたお弁当のお届けです！！

お変わり
ありませんか？



ボランティア募集中！

配達にご協力いただける方を募集中です。

社協の配食サービスは、町内全域で安否確認が必要な方に火曜日と金曜日の昼食のお弁当（有料）をお届けしています。ボランティアのみなさんが声掛けしながら、利用者の方の表情や状態にも気を配り配達してくださっています。

現在はお弁当の調理を社会福祉法人伯耆の国に委託し、配達の利用者の方の地域にお住まいのボランティアにお願いすることで、ひとり暮らし高齢者等と地域の方とのつながりづくりにもなるようにしています。

利用者の方からも「野菜が豊富で年寄りにはとても食べやすい」「やわらかい食材の物が多いしとてもおいしくいただいています」と、日頃、高齢者食の提供をされている伯耆の国のお弁当は、在宅で暮らしておられる高齢者のみなさまにも大変好評です。

長年多くのボランティア、住民の協力を得て行ってきた社協の配食サービスですが、「調理」に新たな社会福祉法人にも参加していただき、協力体制を築きながら実施しています。



※利用を希望される方は、社会福祉協議会に直接ご連絡をいただくか、集落の地域福祉委員、民生児童委員、保健師、ケアマネージャーなどにご相談ください。

令和3年度「あいのわ支え合い講座」

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる「福祉の町づくり」のため、福祉活動や制度への理解を深め、地域での活動に参加していただける方を増やすことを目的に開催します。どなたでも参加できます。是非ご参加下さい。

会場：総合福祉センター「しあわせ」

1日目	2/17 (木)	サービス利用者を理解しよう 高齢者や障がい者の特性を知り、特に認知症の症状と対応方法、感染症予防等について理解する 13:30～13:40(10分) 開会あいさつ・講座の説明 13:40～14:40(60分) 高齢者・障がい者を理解しよう <健康福祉課> 14:50～15:50(60分) 医療の基礎、感染症の症状と予防について理解しよう <西伯病院> 16:00～17:00(60分) 認知症について知ろう <地域包括支援センター>
2日目	2/24 (木)	介護の基礎を理解しよう 介護の基礎と基本的な介護技術を学び実際に体験する 13:30～14:50(80分) 「家事援助と自立支援」「緊急時対応」等を中心とした在宅支援について理解しよう <サポートセンターなごみ> 15:00～17:00(120分) 「安全な移乗・移動介助」を主な内容とした介助の基礎を理解しよう <伯耆の国>
3日目	3/3 (木)	運動・レクリエーションを体験しよう いきいきサロン等で活用できる運動やレクリエーションを体験する 13:30～15:00(90分) 運動を通して健康の意義を知ろう <スポnetなんぶ> 15:10～16:40(90分) レクリエーションを体験しよう <社会福祉協議会>
4日目	3/9 (水)	ボランティア活動を理解しよう ボランティアについての基礎知識を学び、地域の福祉活動、ボランティア活動の内容について理解する 9:00～10:50(110分) ボランティアの心構えなどについて聞いてみよう <社会福祉協議会> 11:00～12:00(60分) 南部町の福祉・ボランティア活動の実際を知ろう <社会福祉協議会>
5日目	3/17 (木)	福祉制度・サービス・活動を知ろう 現行の制度やサービス「あいのわ銀行」の事業内容について理解する 13:30～16:00(150分) 高齢者福祉制度・介護保険制度・障がい者福祉制度・生活保護制度・自立支援制度等について知ろう <健康福祉課・福祉事務所> 16:10～16:40(30分) 「南部町あいのわ銀行」を知ろう <社会福祉協議会> 16:40～17:00(20分) 閉会あいさつ・修了証授与・今後についての説明

赤い羽根共同募金助成

NEW

貸出 物品・レクリエーション用品

サーキュレーター



会議・サロンなど
換気・空気循環に

タープテント



3M×3M
大人2人で組立可能

モルック



ルール簡単！
サロンでも大盛り上がり
TV等で話題のレク用品

お問合せ先：南部町社会福祉協議会 66-2900

ありがとうございました



(令和3年11月30日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・地域振興協議会への助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業など福祉活動の財源として活用させていただいています。

香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
武田 絹子	高姫	宏平	金一封
山本 和信	金山	瀧治	金一封
小林 由美子	田住	行正	金一封
藤田 勝美	与一谷	絹恵	金一封
伴 藤進	原	季子	金一封
吉岡 元	法勝寺2区	綾子	金一封
藤井 智志	辭牛	千秋	金一封
角田 悦子	倭	稔	金一封
野口 伸雄	鶴田	孝志	金一封
雑賀 英明	下鴨部	脩	金一封
瀬崎 恭啓	猪小路	恒雄	金一封
森岡 宏顕	坂根	幹雄	金一封
生田 久志	下阿賀	憲正	金一封
田淵 千里	円山	茂	金一封
澤田 富美子	円山	峯雄	金一封
前谷 誠	奥絹屋	勇	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額
細田 信子	道河内	良夫	金一封
細田 憲昭	東西町4区	菊江	金一封
長野 由紀夫	東西町2区	桑名 勇	金一封
長尾 賢司	法勝寺1区	守	金一封
福島 秀則	東西町3区	幹雄	金一封
田邊 登	金山	恒子	金一封
横山 宏克	法勝寺1区	千鶴子	金一封
田中正夫	円山	郁子	金一封
伴 藤武	北方	敏明	金一封
井田 文子	上野	桑本ヒサ子	金一封

新職員紹介

職員が採用になりました。よろしくお願いします。



福祉活動専門員 池田 幸弘

令和4年1月1日採用

◎ご寄付の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。

◎寄付金額等の記載につきましては、寄付者ご本人の意思によるものです。

編集後記

退職して、久しぶりに出会う同級生に『元気か、毎日何してる？』の問いに、答えは『毎日草刈りで、きりがいい！』、農家は繁忙期の草刈りが大変のようです。昔の農家の記録で、年間一〇〇畝(重さ)すると、六〇トンほど？)以上の草を手刈りしていた記録が帳面にあったとのこと。ちなみに、約一ヘクタールの面積での記録だそうです。が、たぶん作業量です。ただ、ここで言いたいのは「うわぁー大変！昔の人はすごいねえ！」ということではなく、昔の人にとってはその作業が必要だからやっていたということ言いたいのです。その時代に農家では、牛が同居し農機役をしていました。刈った草を牛の飼料や敷料として使い、それに糞尿と併せ発酵させて堆肥にし、田畑に入れて肥料にする。つまり、農家にとって、刈ることのできる草が無いということは死活問題なのです。隣人同志で、どこまで草を「刈らせてもらえるか」という取り決めもあり、草が不足する時には頭を下げて、草を刈らせて頂けないかお願いに行ったとか。でも今は、「仕事だから」「刈らないと周りに指摘されるから」「補助金が出るから」みたいに言う人がほとんどです。肥料は自由に手に入り、農機も大きく発展し、草刈りが絶対にはなくなっていません。最近では、平地についてはリンバみたいな動きをする自動的な草刈りロボットができた様です。しかしまだ、急斜面や深い草については対応できないので、自動化にはさらに何年かかるでしょうね？何れにしろ、草刈りは永遠に続けられる作業となりますね。

《K・N》